

第2回いきいき運営委員会 議事内容

日時：2026年5月29日(金) 15:00～ 場所：海神公民館 出席者：運営委員会メンバー 一同

議題・審議事項

I. 組織改革と役割分担の再確認

単なる話し合いの場にとどめず、「決定事項を実行に移す」実効性の高い組織づくりを目指す。

1. 運営委員会の位置付け
 - 実行力のある組織として再定義し、意思決定から実行までのスピード感を重視する。
2. 同好会推進部の再編
 - 従来の「同好会推進部」は、1つの部署にかかる負荷が過大であったため見直しを行う。
 - 今後は新規同好会の立ち上げ等は運営委員会の直轄の組織が活動を推進していく。
 - 同好会推進部は、各同好会とのコミュニケーション(活動状況収集、ニーズ吸い上げ等)を担当する。
3. 助成金の管理移管
 - 従来のセレモニー的なスタイルを改め、会計部が一元管理する。
 - 併せて、各同好会の活動実態を会員に広く周知する(HP等)取り組みを強化する。

II. 「修了生ガイドブック」の編集方針とスケジュール

同窓会の魅力を伝え、新入生の入会を促すツールとして、内容および配布タイミングを見直す。

1. 編集の目的と改善点
 - 毎年発行しているものの、同窓会の説明が不十分であった点を改善する。
 - 在校生が「同窓会に入ると素晴らしい未来が待っている」と直感できるように、魅力的なレイアウトや紹介文(特に同好会紹介)へ刷新する。
2. 配布時期の見直し
 - 4月の入学時は状況把握が難しいため配布効果が薄いと判断。卒業を意識し始める9月～12月頃に重点を置いて配布・説明を行う方向で調整する。
3. 制作・発行スケジュール
 - 6月26日：原稿案の提示
 - 7月中：原稿データ納期
 - 10月10日：同好会記載データの締め切り
 - 10月23日：高齢者福祉課へ印刷原稿を提出(紙ベース)
 - 11月27日：納品
 - 12月2日：学級長連絡会での配布(目標)

III. ルームアドバイザー(RA)との連携強化

同窓会運営における重要課題として、RAとの関係性を再構築し役割の明確化を図る。

1. RA情報交換会の開催
 - 日時・場所：6月24日(水)15:45～ / 勤労市民センター 第1講習室
 - 目的：新体制の方針共有、およびRAを通じた同窓会への入会協力の要請。
2. RAの権限と責任の明確化
 - 同窓会がRAの推薦権(実質的な決定権)を保有していることを再認識する。
 - RAとして謝礼が発生していることを踏まえ、RAに対して同窓会への入会協力などの「任務」を果たすよう依頼を行う。
3. 会議の演出(フラットサロン形式の導入)
 - 対立構造は避けて、「リラックスした雰囲気」を演出しつつ、伝えるべき事項は明確に伝える。

IV. 新規事業・同好会立ち上げのルール化

アイデアを公平かつ円滑に形にするため、透明性の高いルール(マニュアル案)を策定する。

1. 立ち上げ申請・承認プロセス
 1. アイデア提出：提案者が(事務局へ)申請書を提出。
 2. 事前確認：総務部が会則、予算、安全面(トラブル防止)の初期チェックを実施。
 3. 委員会協議：運営委員会にて「楽しさ」「運営に無理がないか」を議論。
 4. 最終決定：運営委員会で承認。
2. 審査における3大チェックポイント
 - 「多くの会員が楽しめるか」
 - 「提案者一人に負担が集中しないか(持続可能性)」
 - 「予算および安全面(トラブル回避)は担保されているか」
3. ドキュメントの管理
 - 承認された記録や申請書は、同窓会専用のGoogleドライブで一元管理し、各部長がアクセスできるようにする。

V. 財政健全化に向けたケーススタディと助成金改革

2027年度(令和9年度)に懸念される財政危機を回避するため、支出削減と収入増の施策を検討する。

1. 財政シミュレーション
 - 会員数の減少(目標610名に対し実績570名程度)および積み立て金の枯渇により、現状維持の場合、約40万円の予算不足に陥る試算が示された。
2. 支出削減案(具体策)
 - 理事の旅費交通費(上限1,000円)の廃止。
 - 広報紙(会報)の郵送大幅削減。手渡しまたはデジタル配信への移行を推進。
 - 3大行事(体育祭、芸能大会、作品展)の規模縮小(やり方)、会場変更、日程短縮の検討。
3. 助成金(同好会・競技大会)制度の見直し
 - 公平かつ明確な算出ルールを再構築する。(納得性)
 - 活動実態のない同好会や、会員名簿を提出できない同好会への助成金は制限する。
4. 収入増加策の検討
 - 会費の値上げ、および賛助会員(他学部修了生や一般市民)の受け入れ拡大。
 - 事業収入の創出：①日帰りバス旅行等の企画を事業化し参加費を収入とする。②PC/AI講座を一般に開放し参加費を収入とする。③各大会の参加費を収入とする④広告収入を得るスキームを研究・構築する。
 - 寄付金：顧問等から寄付の可能性を探る

VI. 同窓会の魅力向上と今後の展望

1. 3本の柱(重点テーマ)の推進
 - 「パソコン(ITスキル)」「健康/麻雀」「旅行・体験型イベント」を活動の柱とし、入会するメリットを対外的に明確化する。
2. 備品管理の最適化
 - 個人の自宅等に分散保管されている同窓会備品を集約するため、トランクルームの契約を検討。
 - コスト(月額12,500円程度)と利便性(アクセス等)のバランスを考慮し、引き続き検証する。

*次回のいきいき運営委員会(予定):6月26日(金)